

平成30年度

東オホーツクシーニックバイウェイ 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 桜井 あけみ	報告年月日: 2019/5/7
----------------------------	------------------------------------	-----------------

ルート (エリア) 運営活動計画方針	ルート (エリア) 運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括		
ホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	小清水原生花園、以久科原生花園の保全 (ネナシカズラの除去等)	-	-	-	-	-	-	地域の取り組みとして根づいていると感じる。また、観光関係者、沿道住民の積極的な参画など、地域に密着した活動構成と運用体制についても構築されたと考えられる。今後も、良好な沿道景観の形成をめざし、積極的活動を継続していくためにも、ルート内における類似した活動も多く見受けられることから、活動団体間の連絡等を綿密に行いながら、これらの活動を連携させることを念頭において取り組みを行ってきたい。「美しい沿道の保全・啓蒙」の方針を十分満たしているものと考えられる。		
	沿道の一斉清掃活動の実施	1	美しい景観保全のための清掃事業「道路清掃・春のごみゼロ運動」	清里町商工会	平成30年5月12日	161名 ・主催者9名 ・一般参加152名				
	ウトロ沿道に花を植えよう	2	ウトロ沿道に花を植えよう	しれとこウトロ・フォーラム 21	平成30年6月9日	80名 ・主催者10名 ・一般参加70名				
	鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	冬期の沿道景観の向上	3	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム 21	平成31年2月8日	148名 ・主催者10名 ・一般参加138名		事業予算等が少なかったことから、他活動を優先した。今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせず実現できる取り組みの実施、支援金システムによる活動支援を行ってきたい。	
		網走湖周辺の水芭蕉の保全活動	-	-	-	-	-			
		花を見る木道づくりの推進	-	-	-	-	-			
		東オホーツク花カレンダーの作成	-	-	-	-	-			
	ビューポイントを再発見・創出する	東オホーツク花シンポジウムの実施	-	-	-	-	-		各方針別の活動内容について、今年度はあまり活動が行われていない状況であるが、ガードレールの除雪実施については、オホーツク海の良好な景観を観ることができると大変好評である。費用がかかることではないが、人的な力を必要とするため、今後は、他機関との連携を図りつつ継続的に実施したい。また、景観写真の更新時期に来ているため、今後は積極的に撮影・ストックを行ってきたい。	
		景観探しツアーの実施	-	-	-	-	-			
		東オホーツクフォトコンテストの実施	-	-	-	-	-			
		ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり	-	-	-	-	-			
		ビューポイントパーキングの拡充と保全	3	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム 21	平成31年2月8日	148名 ・主催者10名 ・一般参加138名			
地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施		-	-	-	-	-				
農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	シーニックデッキの保全	4	シーニックデッキの維持管理	清里町商工会、NPO法人きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	平成30年4～10月	15名 ・主催者15名	A - 2	どのイベントにおいても、参加者なども多いことから、継続した活動と連携を積極的に行ってきたい。地元野菜やご当地産品の販売などが盛んに行われ、東オホーツクの食の資源を活かす活動が定着しつつあるように考える。		
	地域特産物の販売やPR活動	5	シーニックマルシェin網走	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年9月22日	約300名 ・主催者20名 ・一般参加280名	A - 1			
		6	シーニックマルシェin斜里	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年9月23日	約430名 ・主催者30名 ・一般参加400名				
		7	シーニックマルシェin清里	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年9月29日	約350名 ・主催者20名 ・一般参加330名				
		8	知床S-1自慢まつり I Nウトロ2018	NPO法人知床斜里町観光協会	平成30年5月20日	約800名 ・主催者8名 ・一般参加792名				
		先住民フォーラムの実施	-	-	-	-	-			
		植林事業等の実施	-	-	-	-	-			
	地域づくり	温泉情報マップの作成	-	-	-	-	-			今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせず実現できる取り組みの実施、支援金システムによる活動支援を行ってきたい。
		文化施設等との連携による文化発信	9	道の駅スタンプラリー	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年6月1日 ～ 平成30年10月30日	-		A - 3	
		フットバスづくり	-	-	-	-	-			
オホーツクバーボンの研究		-	-	-	-	-				
外国人交流の実施と誘致		-	-	-	-	-				
オホーツクのオリジナル食メニューの研究		-	-	-	-	-				
スポーツイベントの実施		10	第7回グランドフロント北海道in清里	フットボール北海道推進協議会 (主催) 特定非営利活動法人きよさと観光協会 (主幹)	平成30年7月1日	150名 ・主催者50名 ・一般参加100名				
地域連携による地域情報の発信	活動団体向けニュースペーパーの発行	-	-	-	-	-		HPの効果が疑問視されており、SNSへの移行準備を検討している。		
	HPの創出と各町観光情報とのリンク	-	-	-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 桜井 あけみ	報告年月日: 2019/5/7
----------------------------	------------------------------------	-----------------

ルート (エリア) 運営活動計画方針	ルート (エリア) 運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
風を感じさせるマグネットポイントの創出	シーニックデッキの創出	11	ウトロポケットパーク	しれとこウトロ・フォーラム21	平成30年5月上旬～11月末	約1,000名 ・主催者10名 ・一般参加990名		シーニックデッキの設置は昨年度同様の9箇所となった。今後も継続的に実施を行っていききたい。
		12	あばしりフロックス公園	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年7月上旬～9月上旬	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名		
		13	メルヘンの丘 (女満別)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年4月下旬～10月末頃	約8,000名 ・主催者8名 ・一般参加7,992名		
		14	季風クラブ (ウトロ)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	通年	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名		
		15	コスモスロード (上斜里)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年4月下旬～10月末頃	約5,000名 ・主催者8名 ・一般参加4,992名		
		16	コミット (水元町)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年4月上旬～10月末頃	約2,000名 ・主催者8名 ・一般参加1992名		
		17	斜里岳山小屋清岳荘	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年6月中旬～10月上旬	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名		
		18	メーメーベーカーリー	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年8月上旬～	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名		
		19	小清水リリーパーク	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年7月中旬～9月上旬	約2,000名 ・主催者8名 ・一般参加1992名		
			流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出	—	—	—	—	
	サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃	—	—	—	—	—		
各地毎の滞在メニューの創出・連携	東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり	20	あばしりガイドウォーク・ツアー	(一社) 網走市観光協会	通年	80名 ・主催者8名 ・一般参加72名		新たな観光体験型のメニューとなりえる活動など、今後の観光振興に期待の持てる取り組みが行われているので、今後の継続した活動と連携を積極的に図っていききたい。
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
	ホーストレッキングルートの選定	—	—	—	—	—		
東オホーツク型観光の研究	馬やバルーン景観の研究	21	神の子池かんじきウォーキング	東オホーツクガイド協会	平成31年2月10日	約100名 ・主催者6名 ・一般参加94名		今年度もマルシェの開催に併せ、無料の電動アシスト自転車貸し出しコーナーを併設し、立ち寄った観光客に対して近郊の隠れた地域資源を巡る自転車観光ルートの提示と参加を促した。アンケート調査を実施し、「寄り道」に対する観光客のニーズ、本取り組みの課題、効果を把握した。
		22	流水ウォーク	NPO法人知床ナチュラリスト協会	平成31年2月1日～3月31日	約500名 ・主催者8名 ・一般参加492名		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
	東オホーツクトラベルの研究	23	電動アシストサイクルレンタルによる域内観光動向の把握	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成30年7月～平成31年2月	約50名 ・主催者5名 ・一般参加45名		
	東オホーツク観光塾の創出	—	—	—	—	—		
	東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり	24	あばしりガイドウォーク・ツアー	(一社) 網走市観光協会	通年	80名 ・主催者8名 ・一般参加72名		

東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里

【概要】シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数カ所から人の多く集まる箇所（道の駅3箇所）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売とともに、東オホーツクシーニックバイウェイ、オホーツクEV推進協議会の取り組みを紹介するパネル展示を行った。

- 【日時・場所】
- ・9月22日(土)：道の駅流水街道網走 参加者：300人（主催者20名、一般参加280人）
 - ・9月23日(日)：道の駅うとろ・シリエトク 参加者：430人（主催者30名、一般参加400人）
 - ・9月29日(土)：道の駅パスランドさつる 参加者：350人（主催者20名、一般参加330人）

【主催】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加団体】網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



左より網走、清里、ウトロ



(パネル展示の様子)→



東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：『シーニックデッキの創出』

【概要】 景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観PRをはじめ地域との交流が進んで行く。また、農産物等の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。更に道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。

【設置箇所】 ウトロポケットパーク、あばしりフロックス公園、メルヘンの丘（女満別）、季風クラブ（ウトロ）、コスモスロード（上斜里）、コミット（清里）、斜里岳山小屋清岳荘（清里）、メーメーベーカーリー（斜里）、小清水リリーパーク

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加人数】 約22,000人（9箇所）



清里町上斜里のシーニックデッキ



斜里町季風クラブのシーニックデッキ

東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：ルート内道の駅スタンプラリー

- 【概要】 ルート内の回遊性向上、ルートの認知度向上の目的から、ルート内7道の駅を対象としたスタンプラリーを実施した。アンケート（1,100人）結果からは今まで知らなかった地域情報を得ることができた、集めるのに丁度よい数等の好評の感触を得た。
- 【期間】 6月1日～10月30日
- 【実施場所】 東オホーツクシーニックバイウェイエリア内自治体8道の駅
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【協力】：コカコーラ(株)網走営業所
- 【参加人数】：925人（内当選者18人）
- 【商品】：清涼飲料水1箱×2名、7道の駅特産品詰め合わせ×2名、7道の駅それぞれの特産品×14名



表面



裏面

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者:網走開発建設部	報告年月:2019/5/7
---------------------------	-------------	---------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	美しい景観保全のための清掃事業 「道路清掃・春のごみゼロ運動」	平成30年5月12日	清里町商工会	東オホーツクSBW活動団体の連携強化及び景観保全への意識啓発を目的として、清里町で参加している活動団体(自治体や女性団体など)を中心とした町民とともに、清里町役場の職員も参加し、町内の中心路線である道道摩周湖斜里線(上斜里～札弦)の沿道清掃と空き缶拾いを行った。	これらの活動の多くは、年を経るにつれて、地域イベントとして地元住民等に認知されてきたように感じる。 今後とも当部を含めた行政機関の関係職員による積極的な参加体制を構築していきたい。	1
		ガードレールの雪かきボランティア	平成31年2月8日	しれとこウトロ・フォーラム21	冬季のオホーツク海流氷の良好な景観を走行中の車両から楽しめるようにするため、斜里町及び網走開発建設部の関係職員も参加して、ガードレールの除雪を行った。		2
	鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	ウトロ沿道に花を植えよう	平成30年6月9日	しれとこウトロ・フォーラム21	網走開発建設部によるVSP(ボランティア・サポート・プログラム)の一環として、SBW活動団体「しれとこウトロフォーラム21」の主催により、道の駅「うろ・シリエトク」周辺の一般国道334号沿線上での植栽活動が行われた。本取組は今年度で9回目を迎え、当日は天候にも恵まれ約90人が参加した。なお、花苗等については、網走開発建設部が提供した。		3
	ビューポイントを再発見・創出する	「流氷展望ひろば」設置への協力	平成31年1月30日～ 2月28日	網走開発建設部外	地域協働の一環として、雄大な流氷景観などを楽しむことができる流氷展望広場を期間限定で斜里町日の出地区に設置した。網走開発建設部では、チラシ作成で周知の協力を行った。		4
地域	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	シーニックパネル展の実施	年7回開催	網走開発建設部	観光PRの一環として道の駅しゃり(斜里町)・ぐるっとパノラマ美幌峠(美幌町)、オホーツク総合振興局1階ホール(網走市)、まちなか交流プラザ(網走市)、オホーツク紋別空港(紋別市)、北海道銀行網走支店(網走市)、きよさと情報交流施設きよ〜る(清里町)でシーニックバイウエイパネル展を実施した。	行政機関として観光PRについても積極的に支援していきたい。	5
	地域連携による地域情報の発信	東オホーツク・知床エリア「ヒヤリ・ハットマップ」の作成	年2回発行	網走開発建設部	道路利用者に対する車両走行時の注意喚起を促すことを目的に、東オホーツク・知床エリアの「路線連絡会議」構成団体による取組として、当該エリア内の「ヒヤリ・ハットマップ」をに作成し、SBWルート内の道の駅や女満別空港付近のレンタカー窓口、観光施設等での配布を行った。なお、「路線連絡会議」構成団体には、東オホーツクSBWの行政連絡会議も参加しており、網走開発建設部が中心となって、「ヒヤリ・ハットマップ」を作成した。	これらの取組は、道路利用者に対する注意喚起等を促すものであるが、回数を経る毎に地元における認知度が上がっていると思われるので、次年度以降も継続して行うと共に、近年増加している外国人を対象とした外国語版の作成を行っていきたい。	6
観光							